国語科　単元デザインシート		
単元名	学年	３学年
くらしと絵文字	児童数	２５名(特支３名)
	授業者	藤原　悠大

１　単元の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・絵文字の説明と挿絵を整理しながら読み，絵文字がもつ特長について理解することができる。 ・段落のつながりを意識しながら文章を読むことができる。 ・他者の発表を聞き，絵文字への関心を深めている。	・時を表す言葉や段落のはじめの言葉などに着目して，段落のつながりを考えながら文章を読んでいる。 ・学校生活に必要な絵文字について考え，自分なりの絵文字を作り，説明することができる。	・段落のつながりに気をつけて文章を読み，絵文字が使われる訳や絵文字の特長を見付けようとしている。 ・進んで絵文字を描いたり，説明文を書く活動に取り組んだりしている。

２　単元における「学習課題」と「期待する子どもの姿」

【単元の学習課題】

絵文字の特長を理解して，学校生活で役立つ絵文字を作り，その絵文字の説明文を書こう。

【期待する子どもの姿】

段落のつながりに気を付けて文章を読み，学校生活に必要な絵文字を友達と協力して作り，説明することができる子ども。

３　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた具体的な子どもの姿と手立て

主体的な学び

見通しをもつ

課題の解決に対する目的意識を明確にもっている。

・単元の学習課題や単位時間の見通しを確認できるようにする。

・目的意識や相手意識を明確な課題を設定していく。

興味や関心を高める

身近な教材を通して，学習への意欲をもつことができる。

・挑戦意欲や知的好奇心をかきたてる課題の設定をする。

対話的な学び

協働して課題解決する

友達と協力して課題の解決につながりそうな情報を探し，選択・吟味をしている。

・目的に合った小集団を設定し，課題の解決につながる情報提供をしていく。

・他者との学び合いや多様な情報収集，精査によって課題が解決したことへの価値付けをしていく。

・予想に対する意見を話し合い，解決方法について吟味する場を設定する。

多様な手段で説明する

自分の学びについて，他者に伝えることができる。

・学習成果を他者に伝え，多様な評価の場を設定する。

深い学び

知識・技能を活用する

学んだことの意義や，その教科等の特質に応じた学びの面白さを実感している。

・共通体験に基づいて，解決方法を多面的・多角的に考える場を設ける。

新たなものを創り上げる

解決のための多様な判断材料を集めて精査し，自分の考えを形成している。

・学びを他の場面で活用したり，新たな疑問を生み出したりする情報提供や場の設定を行う。

4　単元の指導と評価の計画（全７時間）		
時間	学習課題（◆）と主な学習活動（〇）	評価の観点【】，評価規準（・）
1	◆　絵文字の特長を理解して，学校生活で役立つ絵文字を作り，その絵文字の説明文を書こう。 単元の学習課題や単位時間の見通しを確認できるようにする。 ◆　「くらしと絵文字」を読んで，学習の見通しをもとう。 〇　単元名と本文を読み，日常生活における絵文字を見付ける。 〇　絵文字というのは，伝えたいことを色と形にして，見ただけで分かるようにした記号であることを確認する。 挑戦意欲や知的好奇心をかきたてる課題の設定をする。 **主体的な学び**	【知識・技能】 ・絵文字に興味をもって読み，学習の見通しをもっている。 ・絵文字がどんな意味かを説明することができる。
2 （授業実践Ⅰ） ・ 3	◆　段落のつながりに気を付けて文章を読もう。 〇　時を表す言葉やキーワード，段落に意識して読む。 ・段落の構成は「特長」→「具体例」の順に並んでいることを押さえる。 特長①　絵を見た瞬間に，その意味が分かること 〇　特長①を基に，特長②についてまとめる。 ・５つの段落をパズル形式にし，段落の内容ごとに並べる。 ・個人→グループ→全体の順で活動する。 予想に対する意見を話し合い，解決方法について吟味する場を設定する。 共通体験に基づいて，解決方法を多面的・多角的に考える場を設ける。 特長②　伝える相手に親しみや楽しさを感じさせること 〇　段落のつながりに気を付けて読むことで，文章のつくりがわかる。 〇　特長①，②をもとに，特長③についてまとめる。 特長③　意味が言葉や年齢などの違いを超えて分かること 〇　絵文字の３つの特長についてまとめる。 特長①　絵を見た瞬間に，その意味が分かること 特長②　伝える相手に親しみや楽しさを感じさせること 特長③　意味が言葉や年齢などの違いを超えて分かること 他者との学び合いや多様な情報収集，精査によって課題が解決したことへの価値付けをしていく。 **対話的な学び**　**深い学び**	【知識・技能】 ・絵文字の説明と挿絵を整理しながら読み，絵文字がもつ役割について理解することができる。 ・絵文字がどんな意味かを説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・時を表す言葉や段落の始めの言葉などに着目して，段落のつながりを考えながら文章を読んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・段落のつながりに気を付けて文章を読み，絵文字が使われるわけや絵文字の特長を見付けようとしている。

4	◆これからの絵文字の役割について考えよう。 ○　本文を読み，これからの「くらし」と「絵文字」についてまとめる。 くらし ・外国との交流が増えてくる ・これまで以上にたくさんの品物や情報が行き来する 絵文字 ・様々な場面で大切な役割を果たす ・絵文字は世界中の人々がもっと分かり合い，つながりを深め合うのにも役立つものになっていく ○　先生方からの指令書を基に，学校生活に必要な絵文字を考える。 学びを他の場面で活用したり，新たな疑問を生み出したりする情報提供や場の設定を行う。 対話的な学び　深い学び	【知識・技能】 ・絵文字の説明と挿絵を整理しながら読み，絵文字がもつ役割について理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・段落のつながりに気を付けて文章を読み，絵文字が使われる訳や絵文字の特長を見付けようとしている。
5 （授業実践2） ・ 6	◆　学校生活に必要な絵文字を作ろう。 挑戦意欲や知的好奇心をかき立てる課題の設定をする。 ○　先生方からの指令書を基に，学校生活に必要な絵文字個人で描く。 ・特長①～③のうち，１つ以上取り入れたデザインにする。 目的に合った小集団を設定し，課題の解決につながる情報提供をしていく。 ○　個人で描いた絵文字をグループで交流し，絵文字コンテストを行い，グループで１番を決める。 ・絵だけでなく，取り入れた特長がしっかり説明できているかも判断基準とする。	【思考・判断・表現】 ・学校生活に必要な絵文字について考え，自分なりの絵文字を作ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで絵文字を描いたり，その絵文字の説明を考える活動に取り組んだりしている。
	◆　作った絵文字を説明する文章を書こう。 ○　作った絵文字がどんな意味を表すのかを，説明文としてまとめる。 対話的な学び　深い学び	【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで絵文字を描いたり，説明文を書く活動に取り組んだりしている。
7	◆　作った絵文字を発表しよう ○　自分がどんな絵文字を作ったのかを発表する。 ・特長①～③のいずれかを踏まえて発表する。 学習成果を他者に伝え，多様な評価の場を設定する。 ○　学びの振り返りを行う。 深い学び	【知識・技能】 ・他者の発表を聞き，絵文字への関心を深めている。